

病院理念「慈（めぐみ）の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます」



医療法人幸生会

琵琶湖中央リハビリテーション病院

Biwako Central Rehabilitation Hospital

日本医療機能評価機構認定病院

日本リハビリテーション医学会認定研修施設

地域とともにつなぎあい
患者とともに歩む医療

病院だより

第138号 WIDE版
2022/7/15



病院理念

慈（めぐみ）の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます。

基本方針

1. すべての職種が協働し、生活を支えるリハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 医療・介護・福祉連携を推進し、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 人材の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。



ご挨拶

滋賀県大津市。慈（めぐみ）の源“琵琶湖（マザーレイク）”の湖畔。近くに膳所城（1601年、慶長6年、膳所城藩主本多家6万石の居城として築城）本丸跡に位置する膳所公園。北に比叡山、大津港、南に瀬田の唐橋、石山寺。ゆたかな歴史の流れを今に伝える大津市御殿浜。四季折々の琵琶湖の眺望が、療養いただく皆さんにゆとりとやすらぎを与えます。私たちの病院はこのような琵琶湖のほとりに、1982（昭和57）年に開院しました。

当院は40年の移り変わる医療環境の変化に対応しつつ、急性期医療から慢性期医療を提供する病院を経て、2018（平成30）年に全病棟（180床）を回復期リハビリテーション病棟へと機能転換させるに至りました。

当院は医療、看護、リハビリ療法そして療養を支援するすべての職員が協働し、生活を支えるリハビリテーション医療の実践に最善を尽くすことを病院の理念としています。また地域の医療福祉関係機関と連携し、在宅での療養を支える「つなぎ合う医療」で、持続可能なすべての人々の健康と福祉の充実をめざしています。急性期の病院とは当院の回復期リハビリテーション機能、地域の診療所とは「かかりつけ医」の在宅医療を支援する病院として、また今日欠かすことのできない介護の分野との連携にも力を入れています。

琵琶湖中央リハビリテーション病院は職員一同力を合わせ、地域とともにつなぎ合う医療、患者さんとともに歩む医療をめざし、日々その実践に努めています。

医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 理事長 坂口 昇
院長 大野 辰治

沿革



- 1982年(S57年) 大津市御殿浜に病院開設
- 1983年(S58年) 48床から101床に増床
- 1984年(S59年) 滋賀県救急告示病院承認認定(～1997年)
- 1994年(H 6年) 99床に病床数変更
- 1996年(H 8年) 医療法人 幸生会設立
- 1999年(H11年) B棟増築
- 2000年(H12年) 理学療法Ⅱ施設基準届出
医療療養49床・介護療養50床に病床転換
指定居宅介護支援事業所開設
通所リハビリテーションセンター開設
通所介護センター開設
訪問リハビリ開始
訪問看護開始
- 2001年(H13年) 作業療法Ⅱ施設基準届出
- 2002年(H14年) 言語聴覚療法Ⅱ施設基準届出
- 2003年(H15年) デイサービスセンター石山開設
- 2004年(H16年) 坂本指定居宅介護支援事業所開設
デイサービスセンター坂本開設
- 2005年(H17年) 医療療養60床・介護療養60床に増床
- 2007年(H19年) 院内保育所開設
- 2008年(H20年) C棟増築
180床に病床再編成
回復期リハビリテーション病棟60床開設
- 2009年(H21年) 回復期リハビリテーション病棟Ⅰ施設基準届出
- 2010年(H22年) 介護療養病床60床を医療療養病床60床に病床転換
- 2012年(H24年) 回復期リハビリテーション病棟Ⅱ施設基準届出
病棟再編成(4A病棟を2B・3B病棟と入替)



- 2013年(H25年) 回復期リハビリテーション病棟Ⅰ施設基準届出
デイサービスセンター石山閉鎖
創立30周年 病院増改築工事着工
- 2014年(H26年) 回復期リハビリテーション病棟を2病棟に再編成
D棟増築・病床再編成
回復期リハビリテーション病棟60床を80床に病床数変更
医療療養病棟120床を100床に病床数変更
- 2015年(H27年) 外来診療ゾーン移転・全面リニューアル
病院増改築工事完了
地域連携室移転
電子カルテシステム導入
- 2016年(H28年) 4A病棟リニューアル
病床再編成
回復期リハビリテーション病棟80床を130床に病床数変更
医療療養病棟100床を50床に病床数変更
スプリンクラー設置
日本リハビリテーション医学会研修施設に認定
- 2017年(H29年) 日本医療機能評価機構認定病院に認定
「腰痛サポートシステム」運用開始
- 2018年(H30年) 3A病棟リニューアル
病床再編成
回復期リハビリテーション病棟130床を180床に病床数変更
全病棟回復期リハビリテーション機能に転換
デイサービスセンター坂本閉鎖
- 2020年(R 2年) 「地域サポートセンター」設置
- 2021年(R 3年) 非常用電源工事
リハビリテーションセンター全面改修・拡張工事開始
- 2022年(R 4年) リハビリテーションセンター全面改修・拡張工事完了
屋上リハビリ庭園造設
琵琶湖中央リハビリテーション病院へ病院名変更



病棟からこんにちは ㊀

★ 毎年、願いを込めて作っています…七夕御膳 ★

願いを込めて、今年も病棟に笹飾りが飾られる季節になりました。

人によって想いは違えど、幸せへの願いの言葉が綴られていきます。私たちは、患者さまに美味しく楽しみながら、入院中のお食事を召し上がっていただきたい…そう願っています。

栄養科 管理栄養士 川戸 菜緒

〈2020.7.7〉

- ・七夕そうめん(錦糸卵・カニカマ・オクラ・油揚げ・☆型人參)
- ・鯛ご飯 ・七夕ゼリー
- ・チキンのマヨネーズ焼き
- ・大根と大葉のポン酢和え



〈2021.7.7〉

- ・七夕そうめん(錦糸卵・カニカマ・オクラ・油揚げ・☆型人參)
- ・チキンのマヨネーズ焼き
- ・冬瓜のあんかけ煮
- ・フルーツポンチ



〈2022.7.7〉

- ・七夕そうめん(錦糸卵・カニカマ・オクラ・油揚げ・☆型人參)
- ・☆型ハンバーグほうれん草添え
- ・冬瓜のあんかけ煮
- ・プリン



改装

リハビリテーションセンター 新機器紹介 mediVR カグラ

今回の改修に伴う新たな機器導入の1つとして、『mediVR カグラ』（以下カグラ）を導入しました。近年・アミューズメントパーク等で『VR』という言葉を目にする機会は徐々に多くなって来たかとは思いますが、まず初めに『VR』について簡単に説明させていただきます。

『VR』とはVirtual Realityの略で、主に仮想現実と訳されていて表面的には現実ではないが、本質的には現実という意味が含まれ限りなく実体験に近い体験が得られるということを示しヘッドセットを着用し、映像を観ながらコントローラーで操作を行います。

日常生活を営む上で最も基本的な身体動作には、脚の筋力はもちろんですが、姿勢バランス能力や、複数の課題を同時に処理する能力が必要であると考えられています。カグラでは運動機能と姿勢バランスと認知機能を総合的に評価することができますが、これらはあくまでもコンピュータが自動的に行ってくれるので、患者さまは椅子に座ったままの状態ゲーム感覚で安全にバランス訓練を行っていただけるものです。

またゲームの難易度も5種類選択でき、各ゲーム内で細かな設定を行うことにより様々な患者さまにご利用いただくことが可能です。

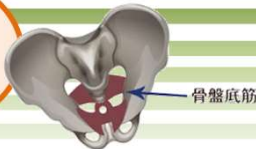
カグラ使用後は、歩行能力の評価指標として用いられることの多いTUG(Timed Up & Go)や10M歩行と言ったテストの結果で改善がみられるとの報告がされており、実際に入院中の患者さまに体験していただいたところ、「ゲームで遊んでいるようで楽しい」、実施後の歩行に関しては「前へ進むのが楽」とのご意見をいただくことができました。まだまだ新しい技術ですが今後研究を重ね、より有意義に活用していけたらと考えています。

リハビリ療法部 理学療法士 木村駿

こころから
人のため



おうちでできる
尿もれ予防



骨盤底筋を鍛えましょう

リハビリ療法部 副部長 上田 健

【骨盤底筋とは？】

骨盤の底にある筋肉の集まりで、内臓や膀胱、子宮など本来あるべき位置におさまるように下から支えている筋肉です。ところが、加齢・運動不足・肥満・妊娠出産などからどんどん弱ってしまいます。

◆膀胱訓練◆

尿もれを気にするあまり尿がたまっていないのにトイレに頻繁に行くと、膀胱の中にたくさんの尿をためることができなくなることがあります。こういった場合、膀胱の持っている機能を取り戻すため膀胱に尿をためる訓練をします。

- ▶尿意があっても、深呼吸などしてリラックスしながら、まず1分間トイレに行くのを我慢してみましょう
- ▶1分間我慢できるようになったら、次に5分、10分と時間を延ばしていきましょう（毎回我慢する必要はなく、ご自宅等で余裕のある時に行きましょう）
- ▶我慢しすぎると膀胱炎などリスクもあるので無理せずコツコツと行いましょう
- ▶トイレに行く間隔が2～3時間になることを目標にしましょう

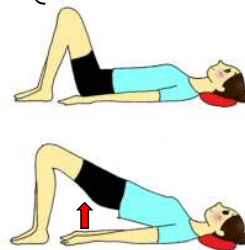


◆骨盤底筋体操◆

弱った骨盤底筋を鍛えることで、臓器を支える筋力をつけます。また、膣(ちつ)や肛門(こうもん)を締める訓練によって尿道が締められ、尿漏れの改善が期待できます。

- ※毎日継続して行うことがとても重要です
- ※効果が表れるには3カ月程度かかるともいわれています。

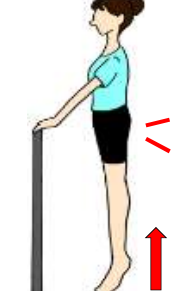
ア) 床に仰向けに寝て、足を肩幅に開き膝を立てお尻を上げて



イ) 座りながら



ウ) つま先立ちで



- ①膣や肛門の筋肉に力を入れて、5～10秒ほど引き締めます
- ②ゆっくり力をゆるめてリラックスします

ア～ウいずれかの体勢で数回繰り返す



屋上リハビリ庭園

～その先の人生に貢献する～



新しく屋上にリハビリ庭園が完成しました。

この庭園では中腰で作業するような小規模な畑や、車椅子でも作業できるような高さのプランターをいくつか導入予定です。当院では地域柄もあってか、よく患者さまから畑のお話を伺います。その中で「退院してからも続けることができるのだろうか?」「諦めなくてはいけないのだろうか?」といった不安なお気持ちを耳にします。

この庭園を活用することで、より実践的な場面での練習を通して専門的な視点でのアドバイスが可能になります。作業療法士を軸としつつ、他職種とも連携し、時には患者さまの助言を頂きながら、四季折々の花や野菜を育てていきます。

入院前と同じような生活を、もしくは入院前とは違って自分らしい役割を担ってほしい。退院してからその先も、一人ひとりにそれぞれのストーリーがあります。入院期間中だけではなく、「患者さまのその先の人生に貢献する」気持ちを強くもって、取り組んでいきたいと思ひます。

リハビリ療法部 作業療法士 松山萌



屋上テラス ～心のオアシスになれば～

一連の改修の最終段階として、屋上テラスが完成しました。屋上リハビリ庭園の隣棟屋上を活用したもので琵琶湖が展望できる開放感あふれる空間です。リハビリ庭園とはブリッジで繋がっており、突き抜ける青空と琵琶湖から吹く風がまた心地良いものです。患者さまのリハビリの一環として利用していただくことを目的としています。先日、同僚と経過観察に立ち寄った際、その解放感に気分が上がり、普段しない話などとしてつい油を売ってしまいました。人の心を開放させるこの空間は、コロナ禍で閉じこもりがちな患者さまの気分転換にも一役買えるのではないかと感じています。



また仕事柄、取引業者との難しい商談をすることが多いのですが、行き詰まった時など、このテラスを有効活用することで有益な話し合いができるのではないかと考えています。このテラスが、患者さまやスタッフの心のオアシスになれば、と思ひます。

事務部副部長 兼 経理課長 坂口 武



琵琶湖中央リハビリテーション病院 外来担当医師								
		月	火	水	木	金	土	
午前	9:00	1診	内科				/	/
			大野	坂口(知)	堀	坂口(知)		
	5	2診	リハビリテーション科					
			清水	清水	清水	清水	堀	堀
	12:00	3診	整形外科	/	整形外科	/	/	/
			松岡		松岡			

※リハビリテーション科、整形外科は予約制となっております。



医療相談のご案内

「健康福祉事業課」は患者さまや地域の方の医療福祉に関するご相談に専門の職員(社会福祉士)が対応させていただく窓口です。お気軽にご利用ください。

◎健康福祉事業課 Tel(077)526-2131
平日9:00~17:00



♪あしあと♪ 前回の好評を経て、2度目のWIDE版です。今回は、進化し続ける当院の歴史をご紹介できればと沿革を掲載しました。ご近所の方なら少し懐かしい病院の外観写真など盛り込んでみました。チャレンジしていく当院の姿と、いつの時代も変わらず見守るマザーレイク。母なる湖 琵琶湖は今日も静かに水面を揺らしています。